



2 月 定 例 会 予 算 議 会 版



平成26年度の予算が2月定例会で議決されました。なかでも、富士宮市一般会計予算は、異例の付帯決議を付けての可決とされました。予算審査特別委員会では各委員より活発な質疑意見が出されました。

望月芳将が考える平成26年度重要課題

1. 富士宮市立病院の 整形外科医師減員に伴う対応（医師確保と環境整備）
2. 富士山世界文化遺産のイコモスや県からの課題解決であると主張しました。当局側もその認識であるとの返答でした。

一方で、市長の想いである

人情ある有徳の町づくりとして

1. 昭和のこどもブロンズ像製作
2. (仮称) 歴史館整備事業

こだわりのある魅力ある美しい町づくりとして

1. 庁舎前池改修費

の三事業に対し、再検討をするように付帯決議をしました。

その理由は

1. 市民コンセンサスが三事業とも得られていない
2. 本当に今、やらなければならない事なのか（市民の安全安心が優先ではないか）
3. 人情ある有徳のまちづくりは、箱物でなく人づくりが先行すべきでないか

このような議論の末、要検討の決断を全会一致で行いました。今回の決議を受け市長は「真摯に受け止め、市民や議会の声に耳を傾け予算の執行をしていきたい」と語りました。

市当局と議会の二元代表制が、今回示された形になったわけです。執行機関と決定機関との違いが出たわけです。私は、様々事業を進めるに当たり着実にしっかりと進め、市の発展に寄与すべく一方で将来に負担が増すことがないようにしなければと常に考えています。そうした考えの基で、付帯決議の決断に至りました。



市の最重要課題への取組

富士宮市立病院の整形外科医師減員問題

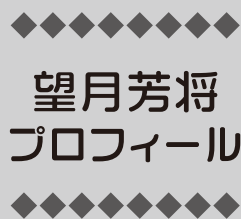
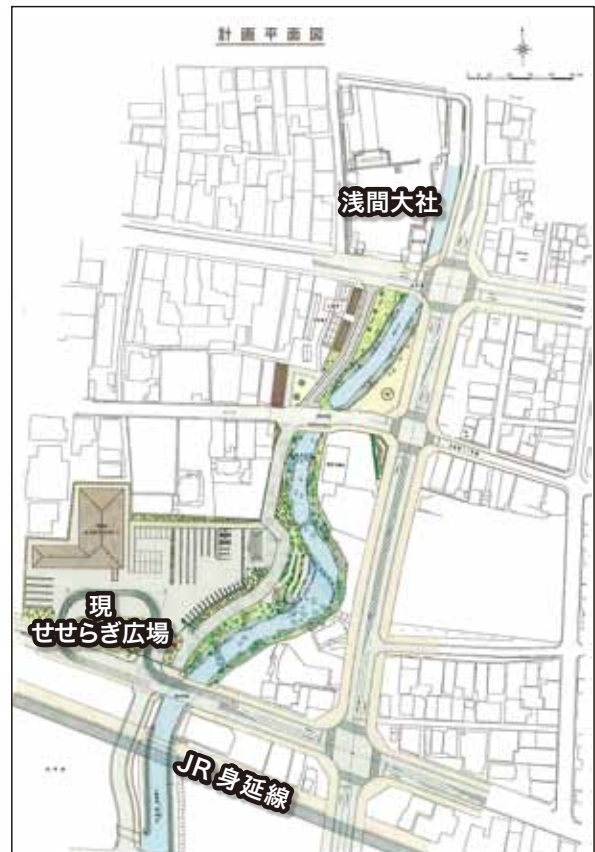
1. 市として派遣先の浜松医科大に要請。
また、他の大学医局へと派遣要請。
2. 議会として（仮称）地域医療を守る
条例策定への協議検討。
3. 全市民的な運動が必要



世界文化遺産センターに関わる県からの課題

1. 聖地としての美しいまちづくり
2. 構成資産へのアクセス
3. 受入体制の整備
4. 駐車場の確保
5. 良好な眺望の確保

これらに対する富士宮市の提案図を
県に提出しているところです。



望月芳将 プロフィール

S52.8.12生まれ 大宮小、二中、富士宮北高 卒業
平成12年帝京大学理工学部 卒業
富士宮にて就職し、青年活動やNPO活動に積極的に参加
H19.4 富士宮市議会 議員初当選 29歳
H22.5 富士宮市議会 環境厚生委員会委員長
H23.2 富士宮市議会 予算審査特別委員長
H24.5 富士宮市議会 総務文教委員長

